

寒さ厳しい毎日ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

災害時難病患者受け入れ訓練について

難病診療分野別拠点病院・難病医療協力病院におかれましては、令和8年1月16日（金）に行われました静岡県総合防災訓練の難病患者受け入れ可否照会へご参加をありがとうございました。訓練状況は、以下の通りです。

<当日の訓練の状況>

8時34分 県疾病対策課から拠点病院へ訓練メールを送信

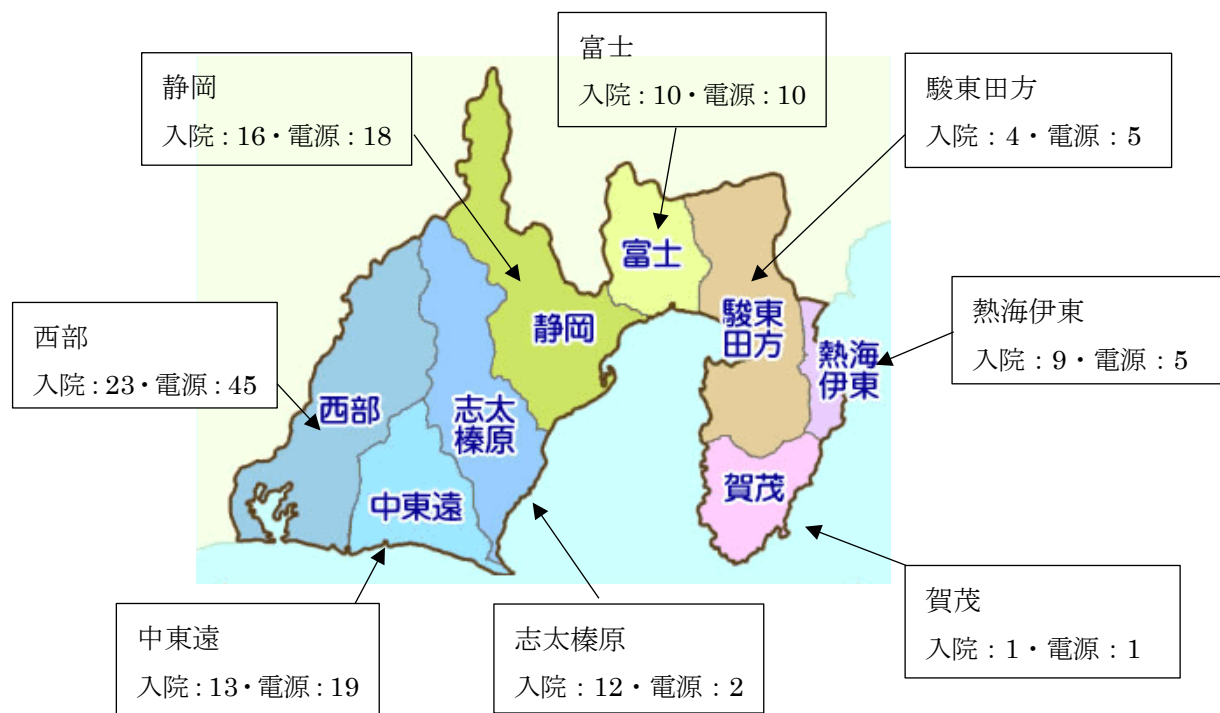
8時39分 拠点病院から協力病院へ難病患者受け入れ可否状況照会依頼を送信

10時00分 拠点病院から県疾病対策課へ照会状況を報告

- ・協力病院から拠点病院への報告数 25
- ・人工呼吸器装着者受け入れ可能総人数 ※拠点病院も含む

【入院】80人 【電源のみ】88人

10時30分以降の返信を含め、本訓練全体では、拠点病院への総報告28病院・人工呼吸器装着者受け入れ可能総人数【入院】88人・【電源のみ】105人でした。



訓練を重ねる度に、各病院から報告様式への病院・病院周辺の被害や継続予測を含めた対応・支援についての記載が増えています。各病院が訓練を通して、被災時の想定がより具体的になっているのではないかと推察致しております。ご協力をありがとうございました。

難病医療従事者講習会について



＝終了回について＝

<第4回>

配信期間：令和7年11月4日（火）～令和7年12月31日（水）

テ ー マ：難病患者のプレホスピタル対応
実例から多職種連携を考える

講 師：浜松医科大学 地域創成防災支援センター 近藤誠人先生

申込み数：69人

アンケート回収数：11（回収率：15.9%）

アンケート結 果：講習会の内容はとても学びになった。54.5%
どちらかといえば学びになった。36.4%

記 述：救急隊の業務内容を知ることができた。

救急車を要請するときに伝えるとよい情報が理解できた。

＝開催中＝

<第5回>

配信期間：令和8年1月5日（月）～令和8年2月27日（金）

テ ー マ：ACP とは何か

講 師：まちの看護相談室 り〜ぶ代表
番匠 千佳子先生



参加申し込み QR コード

講習会ご参加 URL

<https://www.hama-med.ac.jp/form/intractable-disease-sprt-ctr/nanbyo-seminar.html>

現在開催中の講習会講師は、浜松市人生会議手帳1・2に携わった番匠先生です。
Web 講習会ですので、ご参加者様のご都合に合わせて配信期間中は何度でもご視聴いただけます。 [人生会議手帳2](#)

講習会アンケートに記載下さいましたご質問の回答は当室 HP をご覧ください。
[神経・難病センター 難病診療連携コーディネーターからのお知らせ | 浜松医科大学医学部
附属病院](#)

